

はじめに

一人一人が個性豊かに生き生きとした生活を送り、誰もが地域の必要な一員として互いに認め合い、安心して暮らし続けられる地域社会の実現は、全ての県民の願いです。



千葉県では、今後、総人口が減少する中、65歳以上の高齢者が増加し、令和22年（2040年）には高齢化率は33.5%、75歳以上の後期高齢者の割合は18.2%となることを見込まれており、医療・介護双方のニーズを有する方が増加することが予測されています。

このような超高齢社会の中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるためには、高齢者の社会参加・生きがいの促進や、健康づくり・介護予防の推進、そして、医療と介護の連携の強化や、それらを支える人材の確保が重要です。

こうした状況を踏まえ、県では、「高齢者が個性豊かに生き生きと、安心して暮らし続けられる地域社会の実現」を基本理念として、「千葉県高齢者保健福祉計画（令和6年度～令和8年度）」を策定しました。

本計画に基づき、市町村や地域の様々な団体と連携を図りながら、高齢者の活躍支援や、地域共生社会実現のための地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、多大なる御協力をいただいた「千葉県社会福祉審議会老人福祉専門分科会」、「千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会」及び「千葉県認知症対策推進協議会」の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見・御提案をいただいた県民の皆様、市町村・関係団体の皆様に、厚く御礼申し上げます。

令和6年3月

千葉県知事 熊谷 俊人